南部町のいきものたち ㊽

ヤマアカガエル

（撮影：赤井伸江）

朝金にて

「茶色いカエルがようおらんようになった。」時々地元の方がそうおっしゃるのを聞きます。茶色いカエルとは、アカガエル科の仲間のうちニホンアカガエル、ヤマアカガエル、タゴガエルの3種類をまとめて呼んでいると思われます。南部町では3種とも確認されています。先の2種類は、まだ雪が所々に残る寒い時期から水辺に集まり、卵を産んできます。一方、タゴガエルは緩やかな流れのある沢下の伏流水に産卵します。

今年は雪が多かったためか、昨年の1月末には沢山のカエルの卵があった田んぼでも、2月19日になってやっと最初の卵塊が確認されました。南部町では、例年1月の終わりから3月にかけて、夜暗くなってから「クフフフ、ウフフフ」と笑い声のよう合唱を聴くことができます。場所は、山林に面した田んぼや用水路、浅いため池などがお勧めです。

しかし、このアカガエルたちは現在日本全国で数を減らしつつあります。アカガエルの仲間は、モリアオガエルやニホンアマガエルのように指の吸盤が発達していません。圃場整備やU字溝の設置、減反などのために、昔と比べて田んぼや田畑周囲の環境が変わり、移動の制限が大きくなりました。また冬期に水を溜めている場所も少ないので、人知れず繁殖地を失ってゆき、多くの自治体では絶滅危惧に指定されています。

鳥取県では、ニホンアカガエルがレッドデータブックに掲載されていますが、町内でも十分な生息調査は行われていません。豊かな里山を証明するカエルたち。これから時期をずらしながら様々なカエルの仲間が、命のバトンを繋ぎに田んぼやため池を訪れることでしょう。もし見つけたら、おじゃまにならないよう、そっと観察してみて下さいね。

アカガエル類の卵塊

自然観察指導員　桐原 真希

〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1　発行／南部町 企画政策課 ☎(0859)66-3113 F(0859)66-4426
制作／NPO法人 なんぶSANチャンネル ☎(0859)66-3331
http://www.town.nanbu.tottori.jp E・メール nanbusan@town.nanbu.tottori.jp
No.78
この印刷は大豆インキを使用しております。